

好調な建機市場を背景に、大幅な増収を達成

ヤマシンフィルタ株式会社
2019年3月期 第1四半期
決算説明資料

東証一部

6240

2018年8月6日

I

2019年3月期 第1四半期 実績

好調な建機市場を背景に、大幅な増収を達成

P2

II

YVA“YAMASHIN Value Added”

現場レベルから企業価値の向上を目指す

P13

III

2019年3月期通期計画/参考資料

事業ポートフォリオの拡大と筋肉質な企業体質への進化

P25



I

2019年3月期 第1四半期 実績

好調な建機市場を背景に、大幅な増収を達成

新素材開発前

STRENGTH (強み)

- 建機用フィルタ市場における圧倒的なシェア
- 高い研究開発力
- PAC、MAVY'sによる強固な経営基盤

WEAKNESS (弱み)

- 展開事業領域が限定されている
- 売上高の9割が建機用フィルタに依存
- 生産拠点の一極集中

OPPORTUNITIES (機会)

- 中国市場の拡大、更なるシェア獲得
- プロセス/産業フィルタの市場プレゼンス拡大

THREAT (脅威)

- 建機用フィルタの模倣品増加によるシェア低下
- 建設機械市場の変調
- プロセス/産業フィルタの成長未達

育成事業



プロセス/産業
フィルタ



STRATEGY
MATRIX

基盤事業 (成長)



建機用
フィルタ

構造改革事業

基盤事業 (安定)

● 対前年同期比で増収、増益

	2018/3期 Q1 実績	2019/3期 Q1 実績	前年同期比 増減	
	金額	金額	金額	%
(単位：百万円)				
売上高	3,072	3,492	419	13.7%
営業利益	512	521	8	1.7%
営業利益率	16.7%	14.9%	△1.8Pt	
当期純利益	355	421	65	18.5%
純利益率	11.6%	12.1%	0.5Pt	
為替レート AR USD	111.1	109.1	△ 2.0	△1.8%
EUR	122.2	130.1	7.9	6.4%

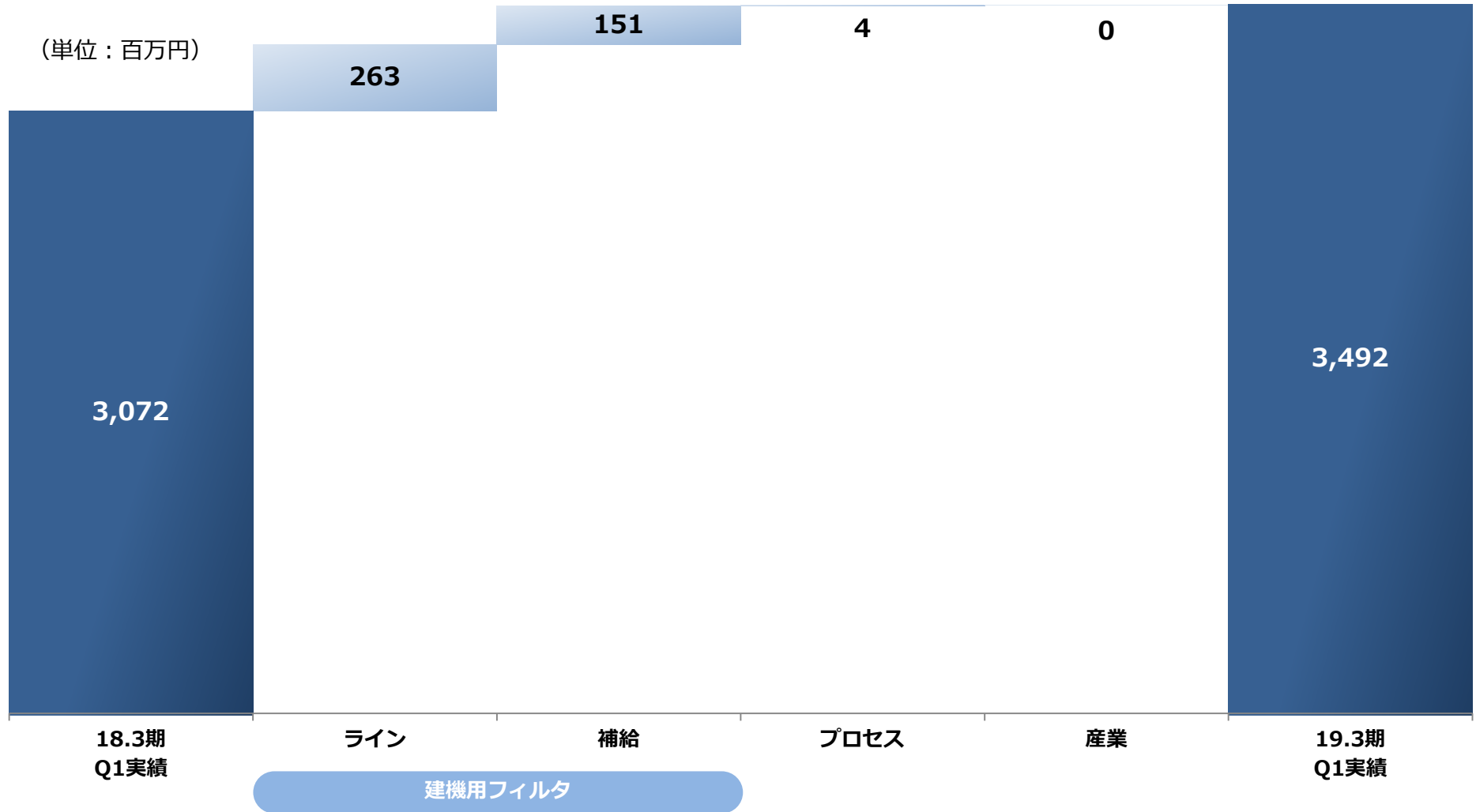
※実績為替レートは期中平均の値です。

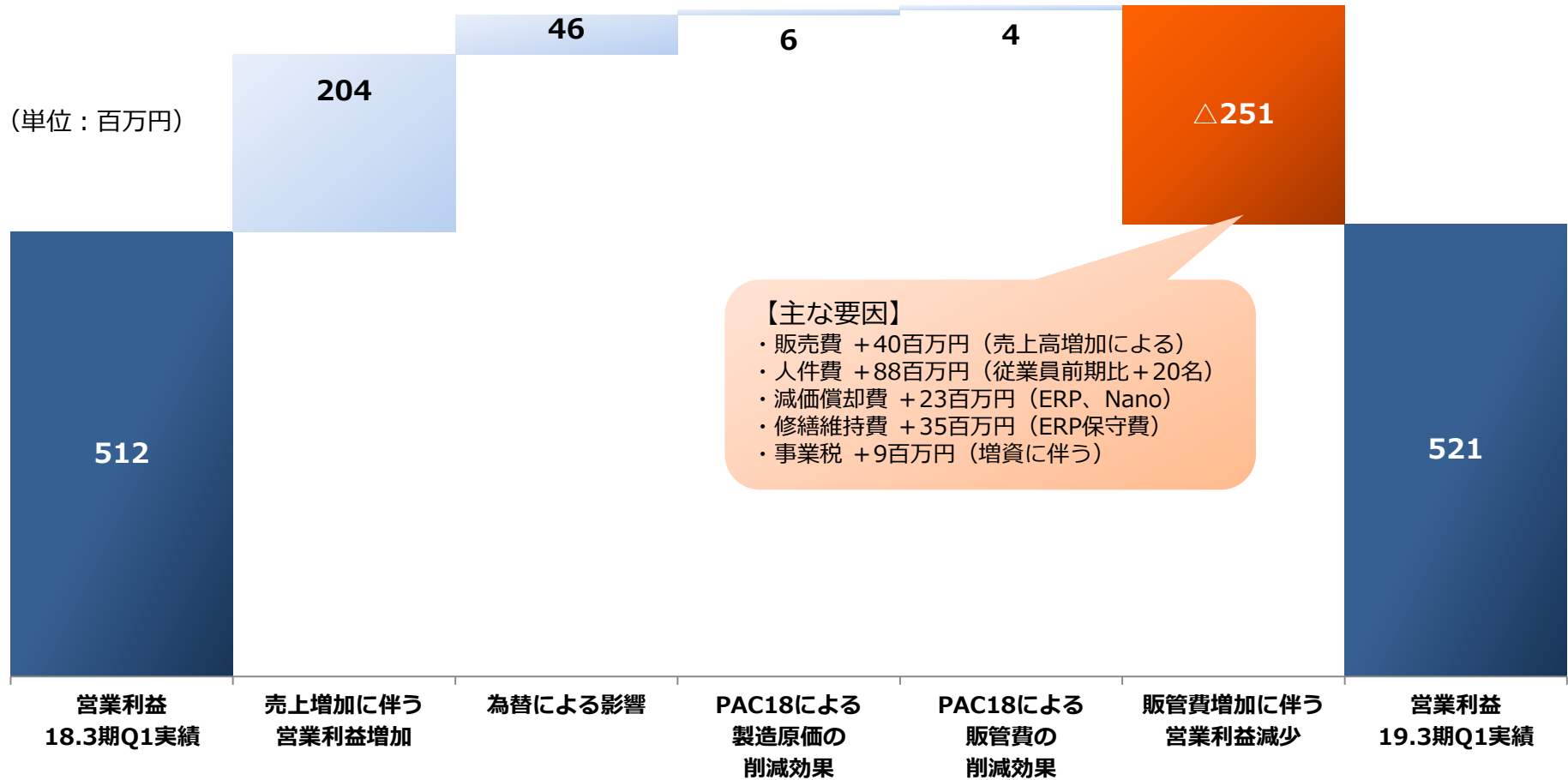
- ライン品、補給品とも前年同期比で増収を達成

	2018/3期 Q1 実績	2019/3期 Q1 実績	前年同期比 増減	
	金額	金額	金額	%
(単位：百万円)				
建機用フィルタ	2,741	3,155	414	15.1%
ライン品	1,249	1,512	263	21.1%
補給品	1,492	1,643	151	10.2%
産業用フィルタ	129	130	0	0.4%
プロセス用フィルタ	201	206	4	2.4%
売上高合計	3,072	3,492	419	13.7%

	2018/3期 Q1 実績		2019/3期 Q1 実績		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
国内	1,594	51.9%	1,629	46.7%	35	2.2%
北米	467	15.2%	521	14.9%	54	11.6%
中国	367	12.0%	565	16.2%	198	54.0%
アジア	352	11.5%	484	13.9%	131	37.4%
欧州	265	8.7%	292	8.3%	27	10.2%
その他 (中東他)	25	0.7%	0	0.0%	△ 25	-
売上高合計	3,072	100.0%	3,492	100.0%	419	13.7%

(注) 当社の請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます



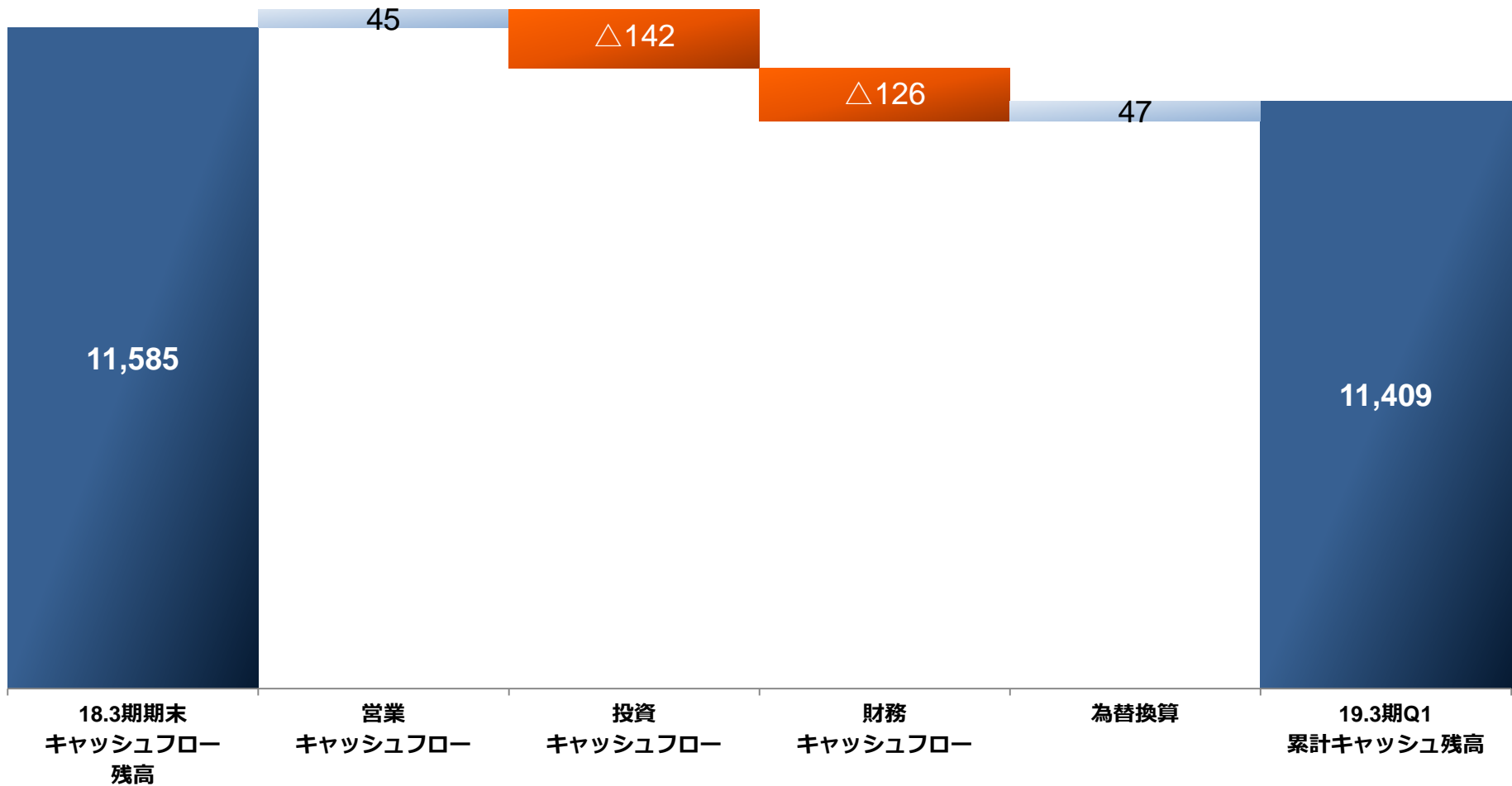


※PAC (Promptly Activated Cost reduction) 全社的なコスト削減プロジェクト

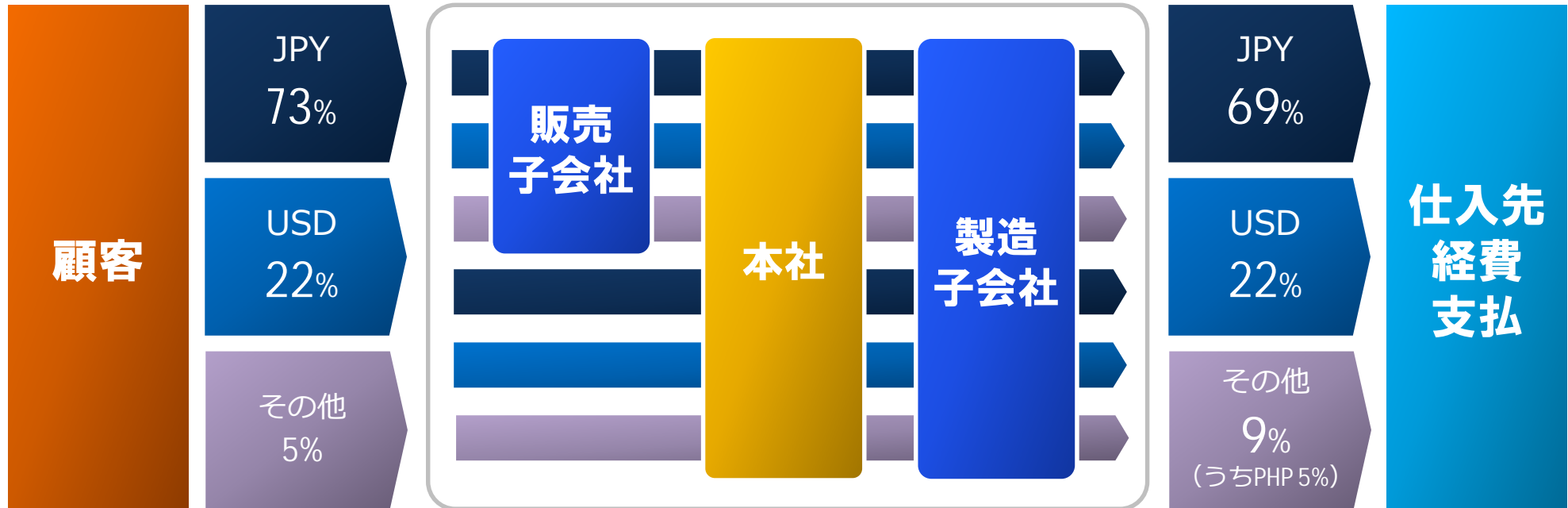
(単位：百万円)									
	2018/3期 期末	2019/3期 Q1	増減額	増減率	2018/3期 期末	2019/3期 Q1	増減額	増減率	
流動資産	16,977	17,289	311	1.8%	流動負債	2,969	2,982	12	0.4%
現金・預金	11,619	11,409	△ 210	△1.8%	支払手形及び買掛金	1,517	1,798	280	18.5%
受取手形及び 売掛金	3,365	3,442	77	2.3%	短期借入金 1年以内返済社債・長借	350	350	0	-
商品・製品& 原材料・貯蔵品	1,799	2,198	399	22.2%	その他	1,101	833	△ 267	△24.3%
その他	193	237	44	23.2%	固定負債	797	743	△ 54	△6.8%
固定資産	3,787	3,693	△ 94	△2.5%	社債	400	400	0	-
有形固定資産	1,653	1,668	14	0.9%	退職給付に係る負債	175	176	1	0.9%
無形固定資産	412	386	△ 25	△6.3%	その他	222	166	△ 55	△25.1%
投資その他資産	1,721	1,638	△ 82	△4.8%	純資産合計	16,999	17,257	258	1.5%
資産合計	20,765	20,982	217	1.0%	負債純資産合計	20,765	20,982	217	1.0%

*自己資本比率 81.9% 82.2%

(単位：百万円)



- 為替が1円円高になった場合の営業利益影響額は約1.5百万円増益



取引通貨の7割はJPY

USDは為替マリーを実現

(単位：百万)

Currency	Incoming			Outgoing			Net 各通貨	期中 平均レート (JPY)	円高ケース (10%)			円安ケース(10%)		
	各通貨	円換算	構成比	各通貨	円換算	構成比			期中平均 レート ▲10% (JPY)	レート 差額	影響額 (QTD)	期中平均 レート +10% (JPY)	レート 差額	影響額 (QTD)
JPY	¥4,800.0	¥4,800.0	73%	\$4,500.0	¥4,500.0	69%	¥300.0	-	-	-	-	-	-	-
USD	\$13.4	¥1,461.7	22%	\$13.2	¥1,439.9	22%	\$0.2	¥109.1	¥98.18	¥-10.91	¥-2.18	¥119.99	¥10.91	¥2.18
EUR	€ 2.2	¥286.2	4%	€ 1.4	¥182.1	3%	€ 0.8	¥130.1	¥117.07	¥-13.0	¥-10.41	¥143.08	¥13.01	¥10.41
PHP	PP0.0	¥0.0	0%	PP165.4	¥345.1	5%	PP-165.4	¥2.1	¥1.88	¥-0.2	¥34.51	¥2.30	¥0.21	¥-34.51
THB	฿20.80	¥71.1	1%	฿5.00	¥17.1	0%	฿15.80	¥3.4	¥3.08	¥-0.3	¥-5.40	¥3.76	¥0.34	¥5.40
Total	-	¥6,619.0	100%	-	¥6,484.2	100%	-	-	-	-	¥16.52	-	-	¥-16.52



II

YVA”YAMASHIN VALUE ADDED”

現場レベルから企業価値の向上を目指す

管理部門にとどまらず、現場にまで 企業価値向上の目標数値を落とし込む

MAVY'Sとは (ROIC - WACC)

Maximizing
Added
Value of
Yamashin Filter
Spread

投下資本の利潤最大化を目指し、
各責任部署が (KPI) を設定し
業務に取り組む (KSF) ための
最重要指標 (KGI)

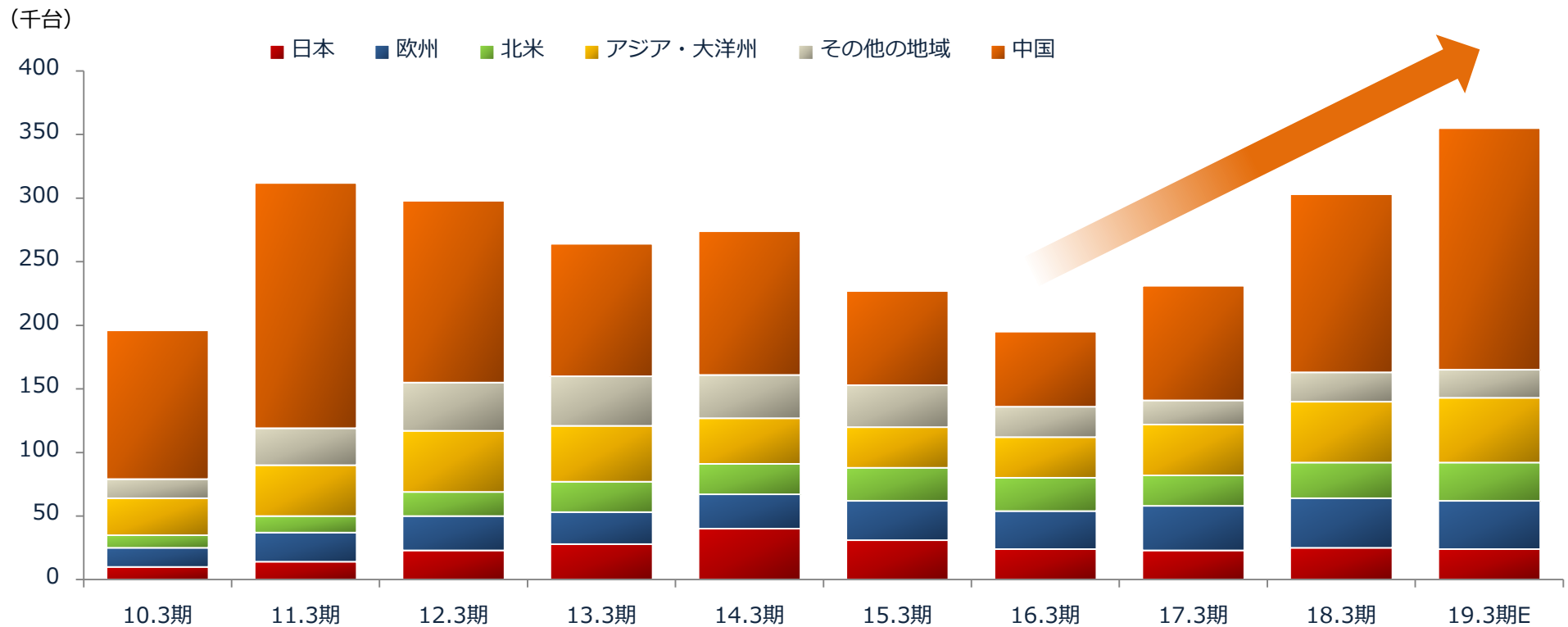
MAVY's
スプレッド拡大により
ステークホルダーの期待に応える

各指標に対して、担当部署を
割り振り、各KPIを設定して
目標達成に向けた業務運営を
全社にて行う

Key Goal Indicator (KGI)	Key Performance Indicator (KPI)	Key Success Factor (KSF)	責任部署	経営方針	64部門目標 (action plan)								
※KPI算定の前提 Prv : 2018/3期 年間実績値 Cur : 2019/3期 年間見通し	MAVY's Prv: 4.1% Cur: 0.8%	ROIC Prv: 7.0% Cur: 8.6%	WACC Prv: 2.9% Cur: 7.8%	ROE Prv: 10.6% Cur: 9.0%	ROA Prv: 8.1% Cur: 7.6%	売上高営業利益率 Prv: 14.5% Cur: 16.7%	売上総利益率 Prv: 46.1% Cur: 48.1%	売上高伸長率 Prv: 28.0% Cur: 6.3%	新製品開発 純正率向上	営業・開発	事業ポートフォリオ拡大 既存事業の深耕	・新ろ材フィルタ販売 ・セミナー活動実施によるシェアアップ ・新規市場の開拓	
								売上原価率 Prv: 53.9% Cur: 51.9%	購買力強化 歩留り改善	生産・購買	収益性の改善	・PAC18、サプライヤ再編 ・SAP活用、原価低減	
								減価償却費率 Prv: 2.3% Cur: 3.0%	投資計画	経営企画 財務経理	事業ポートフォリオ拡大	・中期経営企画の策定 ・投資回収効果	
								販管費率 Prv: 31.6% Cur: 31.4%	研究開発費率 Prv: 1.9% Cur: 2.5%	テーマの絞り込み 優先順位	開発	事業ポートフォリオ拡大	・新素材の開発 ・IoTの取り組み ・その他技術開発
								人件費率 Prv: 12.8% Cur: 13.1%	最適な人員構成	人事・総務	人事制度・システムの 確立	・タレントマネジメント 制度策定・運用	
								売上債権回転率 Prv: 4.5 Cur: 4.6	債権管理	営業 財務経理	ガバナンス強化	・債権ポジション管理	
								運転資本回転率 Prv: 4.1 Cur: 4.0	棚卸資産回転率 Prv: 8.1 Cur: 7.7	適正在庫の設定	生産 営業	ガバナンス強化	・ワーキングキャピタル のモニタリング ・適正在庫水準の管理
								投下資本回転率 Prv: 0.8 Cur: 0.8	仕入債務回転率 Prv: 5.4 Cur: 5.5	債務管理	購買 生産	ガバナンス強化	・ワーキングキャピタル の改善
									有形固定資産回転率 Prv: 9.0 Cur: 6.7	設備計画 (R&D・生産)	経営企画 総務・生産・開発	事業ポートフォリオ拡大	・投資回収効果最適化
								固定資産回転率 Prv: 3.7 Cur: 3.4	無形固定資産回転率 Prv: 37.3 Cur: 29.5	投資計画	経営企画 財務経理	事業ポートフォリオ拡大	・投資回収効果最適化 ・SAP活用

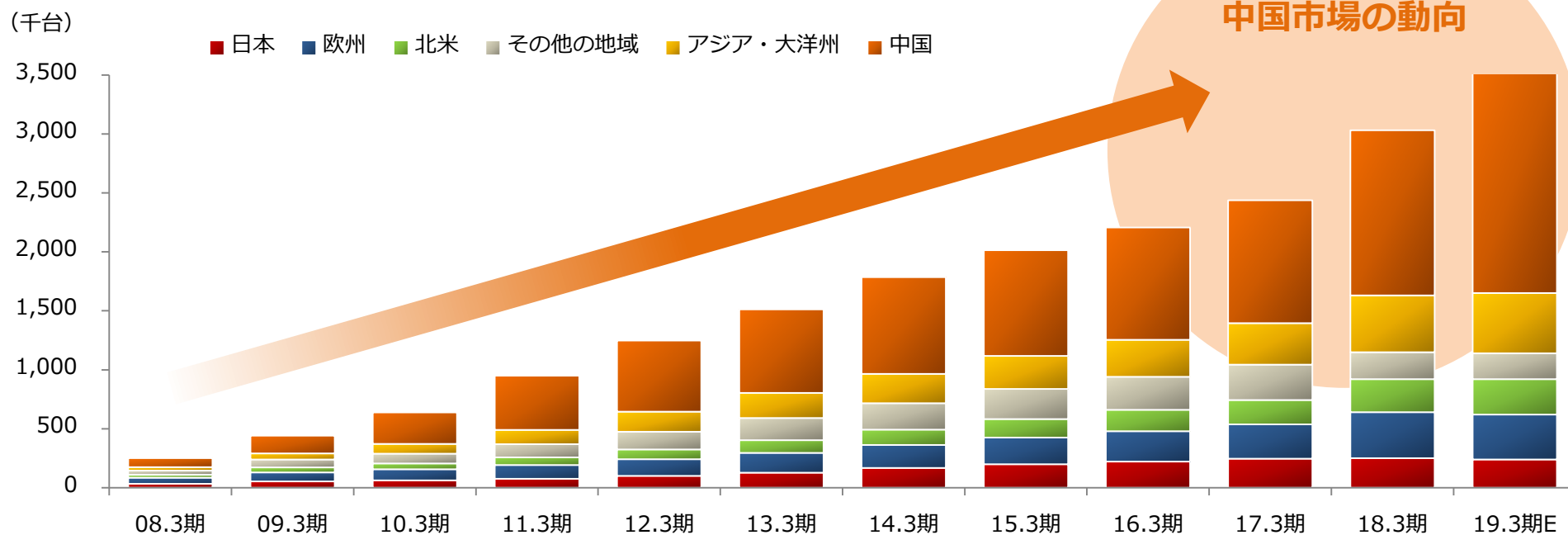
		主な取り組み	進捗状況
建機 フィルタ	ライン品	故障予知、IOT・ICT技術の提案	実機データ収集段階 次世代モデルへSWIFTROCK搭載提案中
		新素材を使ったリターンフィルタの提案	各社次世代モデルへの搭載提案
		中国建機メーカーへの拡販	新ろ材のフィルタの提案
	補給品	セミナー展開によって非純正品からのシェア向上	市場の特性に合わせたセミナー活動の充実・強化
産業 フィルタ		製品ラインナップの拡充・強化	SWIFTROCKの搭載提案等 新素材を活用した製品の開発・提案
プロセス フィルタ		製品ラインナップの拡充・強化	新規パートナーを開拓中
新領域		Yamashin Paradigm Shiftプロジェクト開始	白物家電、農業、建材、アパレル等への提案

建機市場は、インフラ整備の投資拡大により 持続的な成長が見込まれる



(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計)

中国の旺盛なインフラ需要を牽引役とし アジア市場の成長が活発化



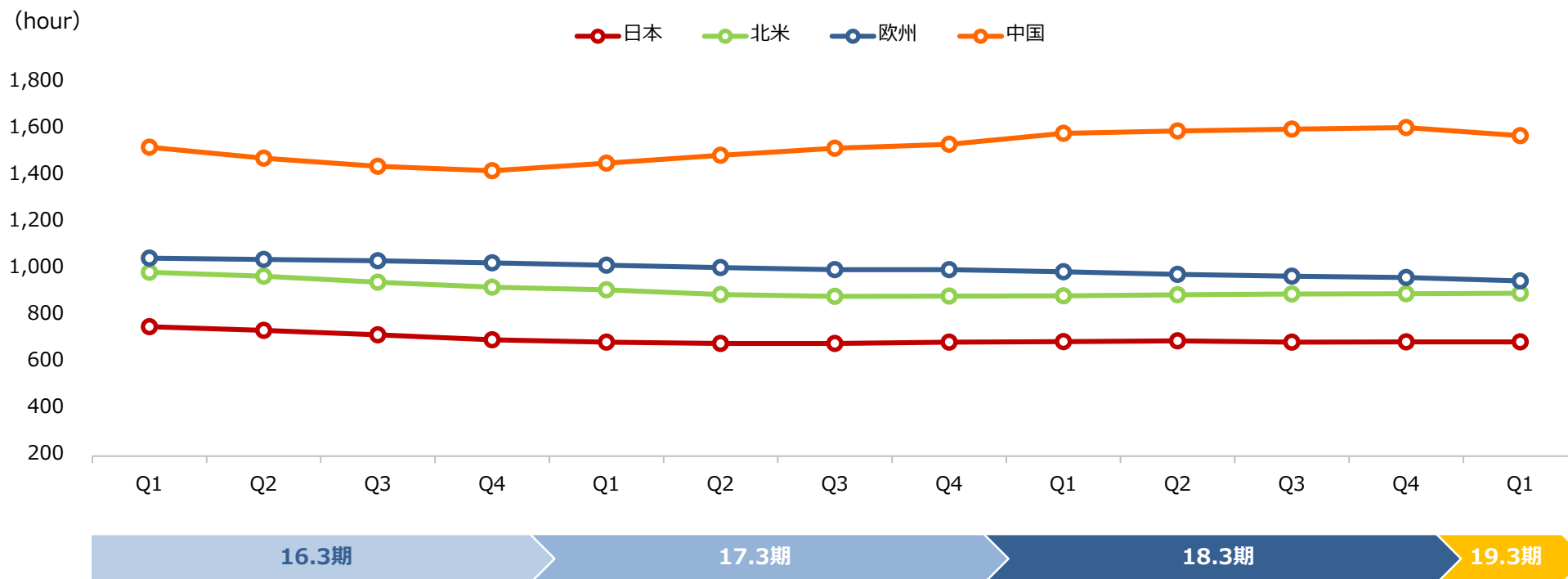
中国市場の動向

中国
4兆元の財政出動

中国
2兆元の財政出動

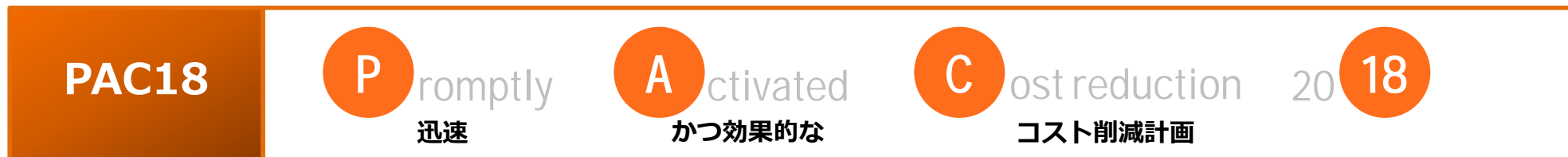
中国のインフラ投資の拡大が 建機需要を改めて喚起する見通し

建機1台あたり稼働時間推移（年計）



出所：野村証券アナリストレポートをもとに当社作成

- 生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る

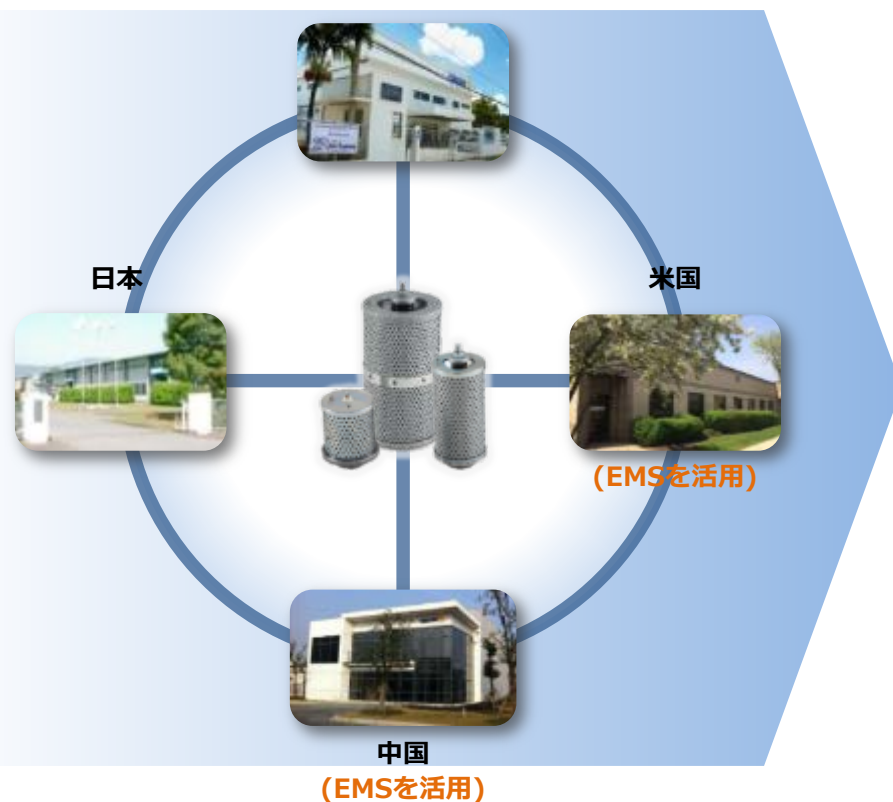


背景	科目	アクションプラン	削減目標額（年間目標）	1Q実績	進捗率（年間）
強固な経営基盤 利益創出体制 の確立	製造原価	生産の効率化 サプライチェーン 強化等	3.2億円	6,349 (千円)	2%
	販売管理費	営業経費、 管理費の削減	0.5億円	4,821 (千円)	10%

- 生産拠点の見直し・再編により、Multiple な生産体制の構築を実施
- 購買力を強化し、グローバル・サプライチェーンの再構築を実施

Multiple ソーシング

フィリピン



目的・GOAL



● サプライヤとの関係を強化

評価項目
(納期達成率、品質の高さ等)
に基づくサプライヤの
整理・統合・選別・集中



優良サプライヤとの
関係構築



Win-Win
原価低減・収益性の改善

● SAP活用：明確な目標設定による原価低減へ

PAC17の
標準原価

原価計算精度の向上

経営の効率化

原価差異の可視化

よりストレッチな
PAC18の標準原価

本社 工場管理
SAPシステム活用・サポート

● IoTの実用化：Smart factory化の実現

第一段階

電力量管理を実施し
原価低減につなげる

第二段階

生産計画 / 出来高の
クラウド管理によるスマート化

- 現在の開発センタは既存事業向けの開発が中心
- ポートフォリオの拡大には開発の強化 = 新しい開発拠点が必要

既存拠点を包括する
新たな開発拠点
を設置



横浜開発センタ



佐賀事業所



横須賀メディアラボ



既存
分野



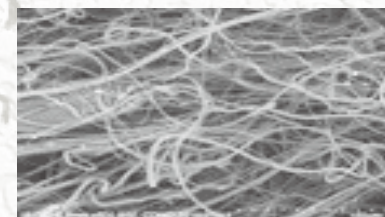
新たな
分野



建機油圧フィルタ



産業/プロセスフィルタ



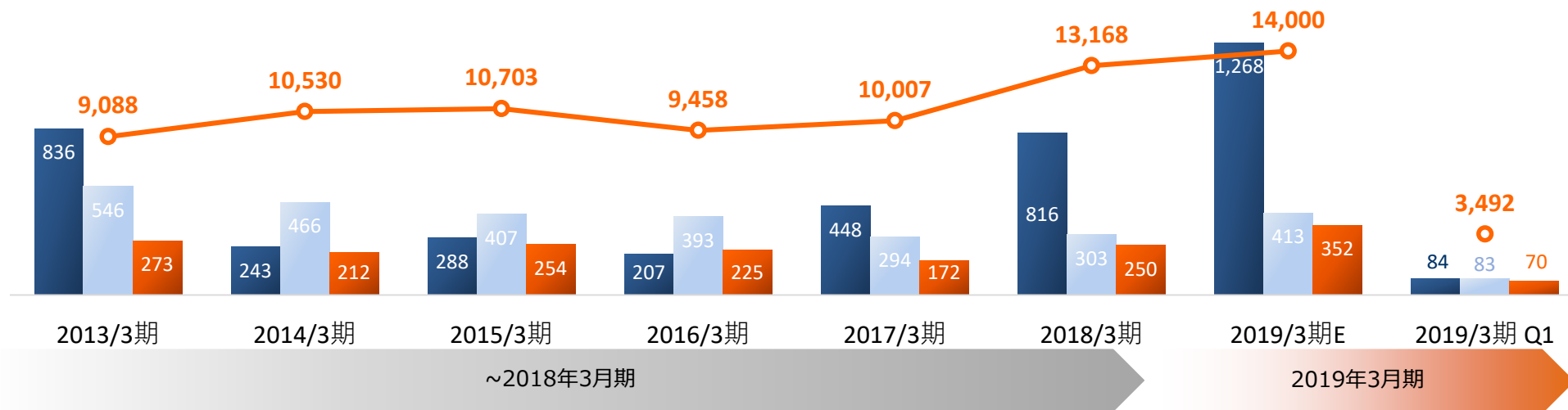
ナノファイバー

(単位：百万円)	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2019/3期
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	通期見通し	Q1実績
売上高	9,088	10,530	10,703	9,458	10,007	13,168	14,000	3,492
設備投資額	836	243	288	207	448	816	1,268	84
構成比%)	9.2%	2.3%	2.7%	2.2%	4.5%	6.2%	9.1%	2.4%
減価償却費	546	466	407	393	294	303	413	83
構成比%)	6.0%	4.4%	3.8%	4.2%	2.9%	2.3%	3.0%	2.4%
研究開発費	273	212	254	225	172	250	352	70
構成比%)	3.0%	2.0%	2.4%	2.4%	1.7%	1.9%	2.5%	2.0%

売上高及び設備投資・減価償却費の年度推移

(単位：百万円)

■ 設備投資額 ■ 減価償却費 ■ 研究開発費 ○ 売上高



III

2019年3月期通期計画 / 参考資料

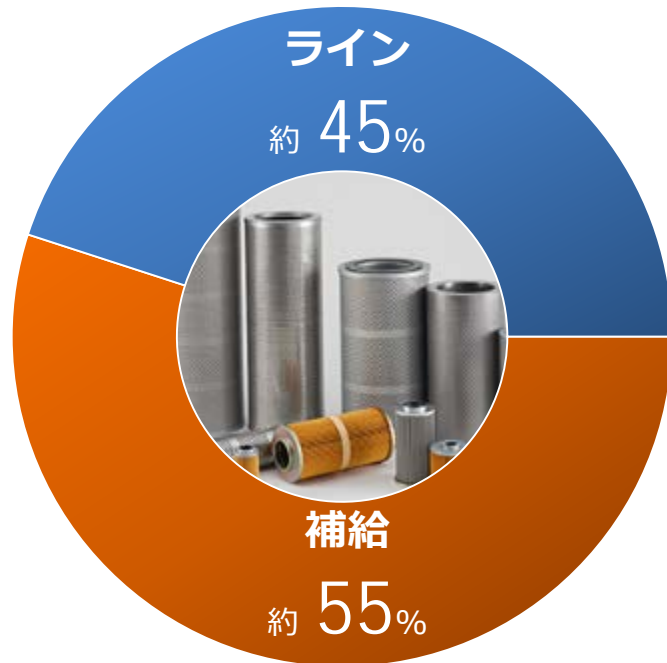
事業ポートフォリオの拡大と筋肉質な企業体質への進化

	過去	現状	今後の見通し
中国	不動産投資鈍化により 大幅な減産	公共投資による景気下支えのため 需要は大幅に増加	インフラ整備の投資拡大により、 継続した需要増加を見込む
北米	エネルギー関連投資の 低迷を受け減産	インフラ投資により 需要回復	資源エネルギー開発・インフラ投資の 進行のなか、更なる需要増を見込む
日本	排ガス規制 駆け込み需要の反動	堅調な国内インフラ投資により 需要増加	堅調な国内インフラ投資を背景に 需要増を見込む
欧州	軟調に推移	ドイツをはじめとした 主要国の需要増加	引き続き堅調な需要を見込む

補給はストックモデル

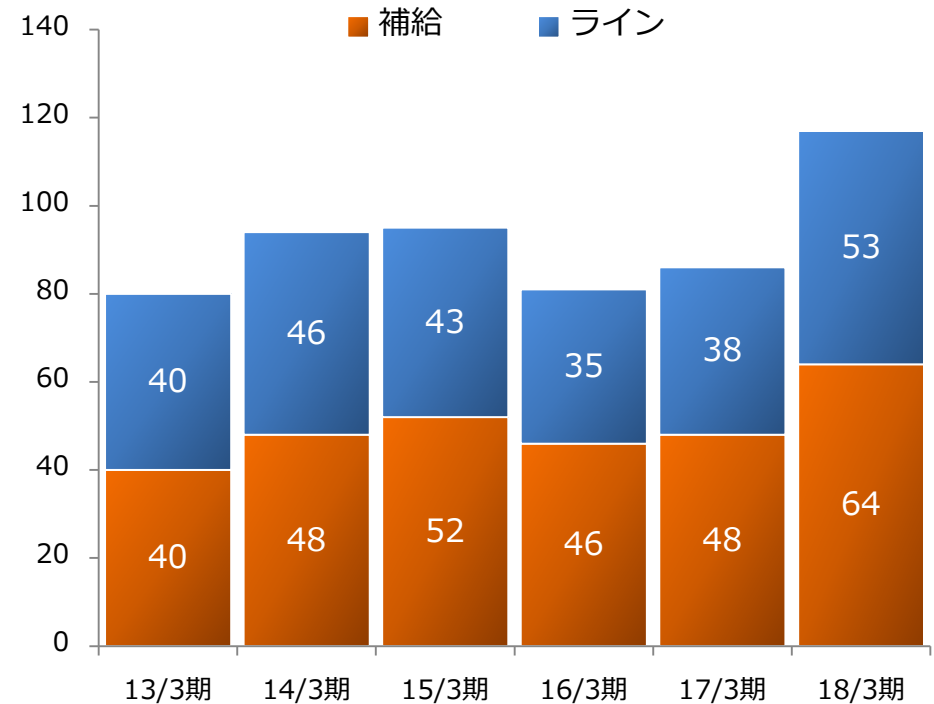
建機の稼働台数の蓄積により、安定した需要拡大が見込める

18.3期 建機用フィルタ 売上構成



補給・ラインの売上高推移

(単位：億円)



- 各国の堅調なインフラ投資継続により、増収見込み
- 全社プロジェクト「PAC18」による原価削減実施により、増益見込み

(単位：百万円)	2017/3期 実績	2018/3期 実績	2019/3期 見通し	19/3期見通し 対 18/3期実績比
	金額	金額	金額	%
売上高	10,007	13,168	14,000	6.3%
売上総利益	4,463	6,074	6,740	11.0%
売上総利益率	44.6%	46.1%	48.1%	2.0P
販売管理費	3,505	4,163	4,390	5.4%
販管比率	35.0%	31.6%	31.4%	△0.3P
営業利益	957	1,910	2,350	23.0%
営業利益率	9.6%	14.5%	16.8%	2.3P
経常利益	934	1,824	2,340	28.3%
経常利益率	9.3%	13.9%	16.7%	2.9P
当期純利益	640	1,249	1,600	28.0%
純利益率	6.4%	9.5%	11.4%	1.9P
為替レート AR USD	108.4	110.9	110.0	△0.8%
EUR	118.8	129.7	135.0	4.1%

	2018/3期 実績		2019/3期 見通し		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
建機用フィルタ	11,768	89.4%	12,564	89.7%	795	6.8%
ライン品	5,342	40.6%	5,567	39.8%	224	4.2%
補給品	6,425	48.8%	6,996	50.0%	571	8.9%
産業用フィルタ	526	4.0%	537	3.8%	10	2.0%
プロセス用フィルタ	873	6.6%	898	6.5%	25	2.9%
売上高合計	13,168	100.0%	14,000	100.0%	831	6.3%

	2018/3期 実績		2019/3期 見通し		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
国内	6,443	48.9%	6,545	46.8%	101	1.6%
北米	2,201	16.7%	2,468	17.6%	267	12.1%
中国	1,753	13.3%	2,149	15.4%	396	22.6%
アジア	1,522	11.6%	1,771	12.7%	248	16.3%
欧州	1,204	9.2%	1,064	7.5%	△ 139	△11.6%
その他（中東他）	42	0.3%	0	0.0%	△ 42	△100.0%
売上高合計	13,168	100.0%	14,000	100.0%	831	6.3%

(注) 当社の請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

「屋根を直すとしたら、よく晴れた日に限る」 (J.F.ケネディ)
“The time to repair the roof is when the sun is shining”

63期売上高
前年比

30% ↑

63期営業利益
前年比

2倍 ↑

好調なときこそ
次のステージへの準備を確実に

建機市場は今後3～5年間は堅調推移 100億円の資金を元手に目標達成に向け積極的に挑戦

事業ポートフォリオの拡大

建機向け油圧フィルタに依存しない
次の成長の柱を育てていく

【3本の柱】

建機フィルタ ✂ プロセス・産業フィルタ ✂ 新素材の展開

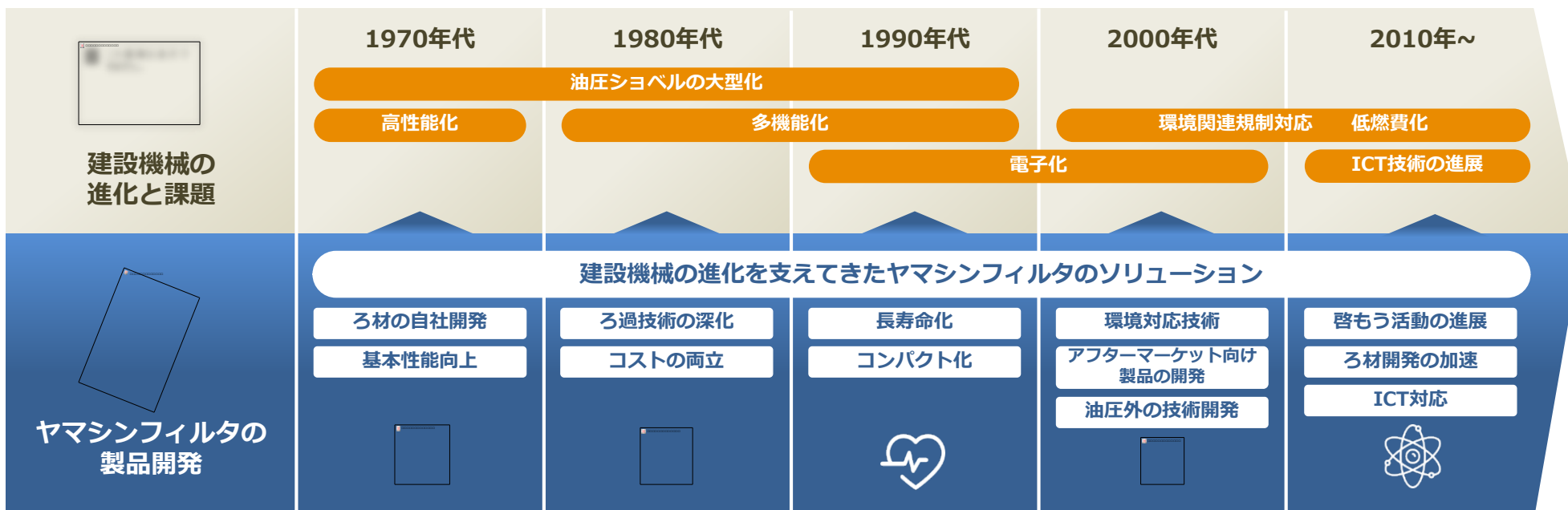
筋肉質な企業体質の構築

Multipleな生産体制構築
グローバル・サプライチェーン再構築

PAC18によるコスト低減
R&D拠点向けの大型投資計画
主要マーケットでの生産拠点開設投資

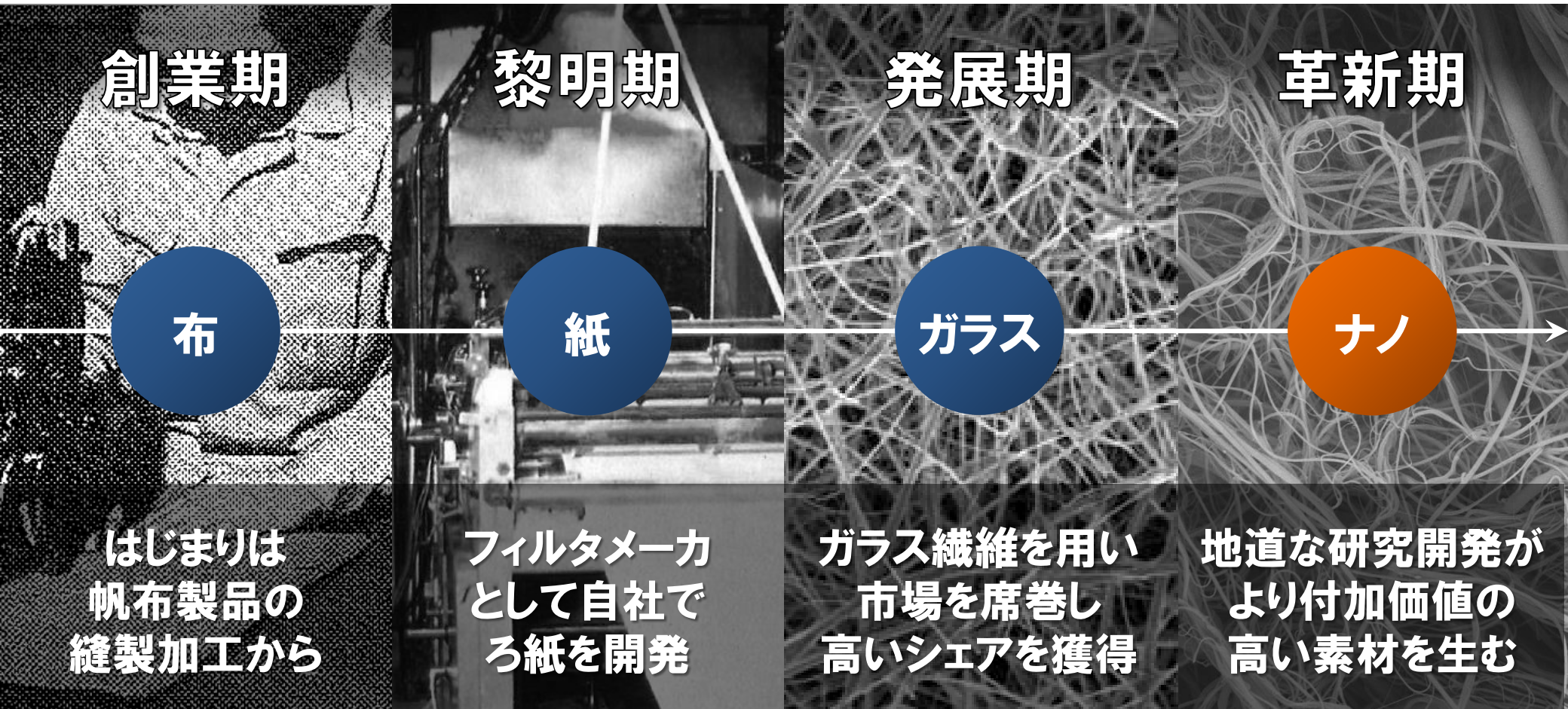
建設機械の進化を支え続けてきた「提案力」と「設計力」

60年の実績	建機用フィルタメーカーとして60年の実績を有し、建機メーカーとともに性能・品質向上に邁進
油圧フィルタの必要性の高まり	油圧の飛躍的な能力向上。一方、高圧化する油圧内部でも正常にろ過するフィルタが必要に
ガラス繊維／ろ材の開発	それまでは紙が当たり前だったろ材に代わるガラス繊維ろ材を開発。飛躍のきっかけとなった
革新の連鎖	現在も、建設機械の課題に常に立ち向かい、フロントランナーとして新たな課題に挑んでいる



事業ポートフォリオの拡大

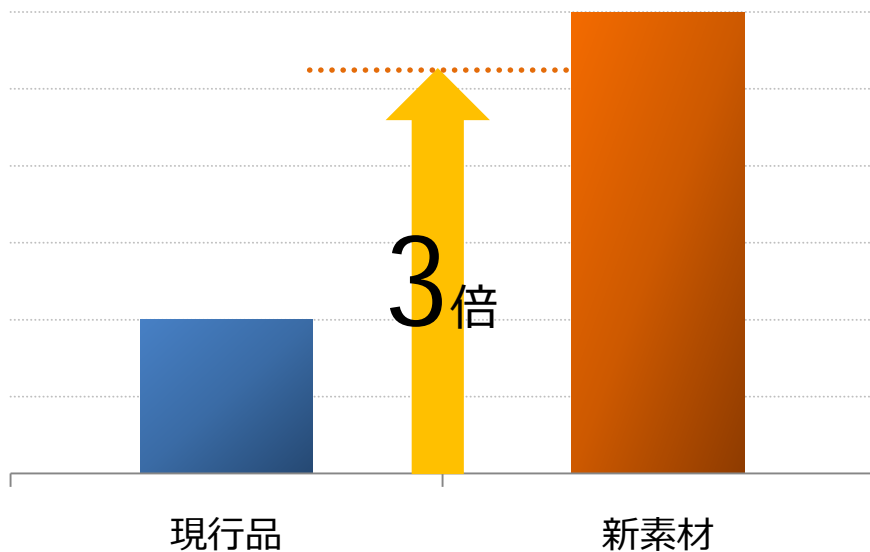
素材にこだわるDNAが新たな素材革命を起こした



素材革命が起こすコアビジネスへの福音

製品稼働時間の比較

約3倍の稼働時間を実現※



※当社現行素材を用いた製品と新素材を用いた場合の比較

新素材により期待される効果

製品単価
の向上

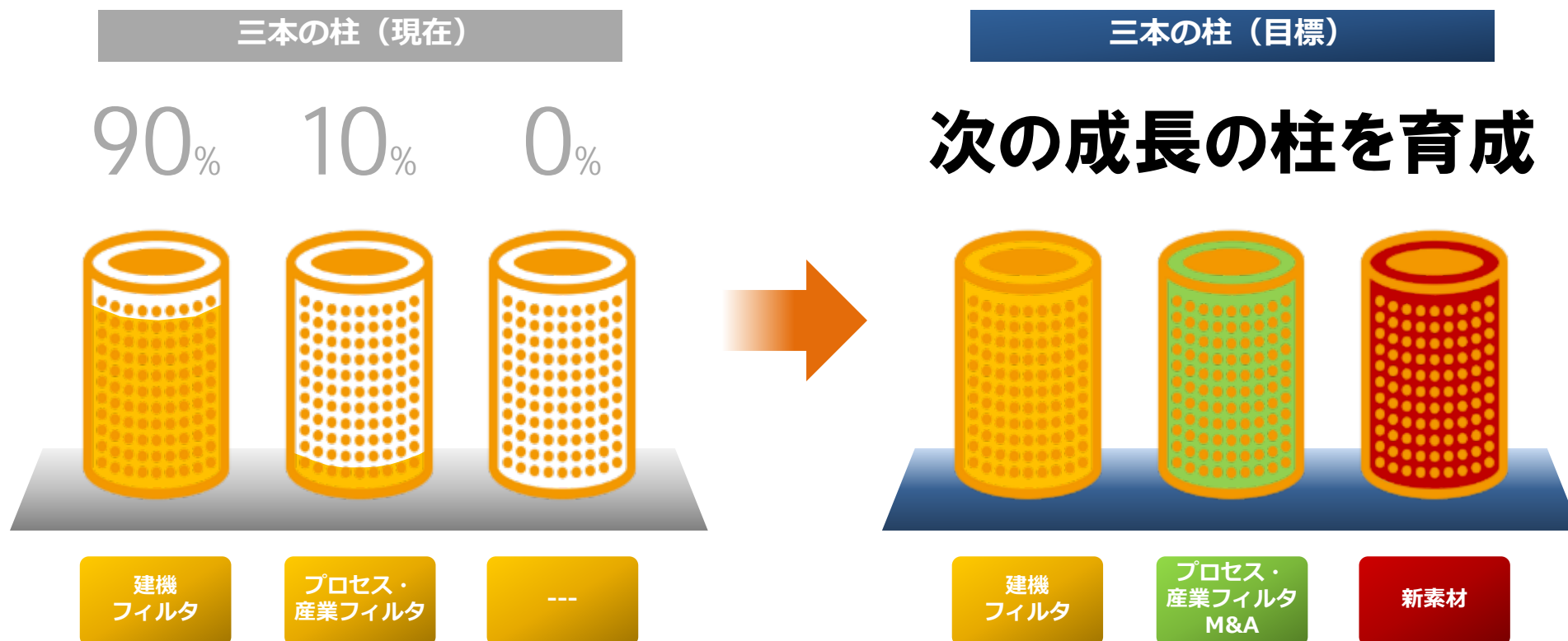
模倣品
の駆逐

原価率低減
による
利益率向上

補給品収益
の安定性向上

さらなる市場シェアの拡大

- 現在の売上高は建機向けフィルタが9割を占める
- 業績が好調な今こそ、次の成長の柱を育てていく



当社が目指す「総合フィルタメーカー」 - Yamashin Paradigm Shift

これまでの常識

これからの常識

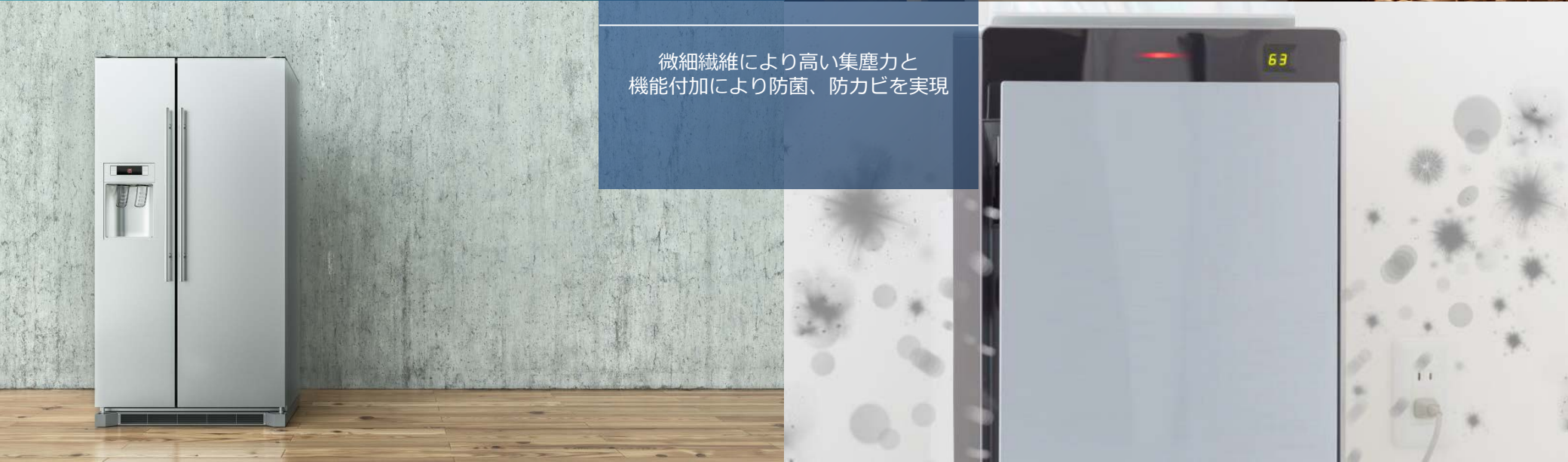




家電

Consumer electronics

微細繊維により高い集塵力と
機能付加により防菌、防カビを実現





アパレル

Apparel

極細繊維により高密度で
遮熱性の高い機能素材を実現



農業

Agriculture

素材の持つ自由度の高さを活かして
薄くて断熱性の高いシートの作成が
可能に

防音材

Soundproof

遮音・断熱・不燃特性を活かし、
コンパクトで軽量の航空機や
船舶を実現

新素材開発前

STRENGTH (強み)

- 建機用フィルタ市場における圧倒的なシェア
- 高い研究開発力
- PAC、MAVY'sによる強固な経営基盤

WEAKNESS (弱み)

- 展開事業領域が限定されている
- 売上高の9割が建機用フィルタに依存
- 生産拠点の一極集中

OPPORTUNITIES (機会)

- 中国市場の拡大、更なるシェア獲得
- プロセス/産業フィルタの市場プレゼンス拡大

THREAT (脅威)

- 建機用フィルタの模倣品増加によるシェア低下
- 建設機械市場の変調
- プロセス/産業フィルタの成長未達

育成事業



基盤事業 (成長)



構造改革事業

基盤事業 (安定)

新素材開発後

STRENGTH (強み)

- 建機用フィルタ市場における圧倒的なシェア
- **新素材導入による更なるシェア拡大**
- 高い研究開発力
- PAC、MAVY'sによる強固な経営基盤

OPPORTUNITIES (機会)

- 中国市場の拡大、更なるシェア獲得
- プロセス/産業フィルタの市場プレゼンス拡大
- **「総合フィルタメーカー」への飛躍によるビジネス領域の拡大**

WEAKNESS (弱み)

- 売上高の9割が建機用フィルタに依存

THREAT (脅威)

- 建機用フィルタの模倣品増加によるシェア低下
- 中国市場の変調
- プロセス/産業フィルタの成長未達
- **新素材商品展開の遅れ**

総合フィルタメーカーを実現し脱却予定

新素材による模倣品排除

育成事業

プロセス/産業
フィルタ

新素材事業

構造改革事業

STRATEGY
MATRIX

基盤事業 (成長)

建機用
フィルタ

基盤事業 (安定)

ICTとさまざまな産業のIoT化を支える

労働人口の減少によって、よりスマートで、生産性の高い環境の整備が求められています
いつでも、どこにいても、リアルタイムで装置の状況を把握できる
ヤマシンフィルタはその機能を通じて、あらゆる産業におけるIoT化やスマートファクトリーの実現を支えています



製鉄所



建設機械



製紙工場



発電所



風力・水力発電



工作機械



航空機

- 油圧作動油・潤滑油の清浄度センサ
- 今後、新素材を基にしたアプリケーションの開発に取り組んでいく
- 次世代モデルへ搭載を提案中



油圧・潤滑装置清浄度センサ

SWIFTROCK™

中間配当7円、期末配当11円の年間18円に増配（分割前基準）

		17.3期	18.3期	19.3期E
1株当たり 配当金	分割前基準	12円	(18円) ※1	(25円) ※2
	分割後基準	—	— ※1	5円
DOE		2.3%	1.9%	1.9%
総還元性向 ※3		25.6%	21.6%	23.8%

※1 2017年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、2018年3月期の配当金額は、株式分割前の金額で記載しております。（期末配当11円 分割後2.2円）

※2 2019年3月期の配当予想額について、参考値として、上記株式分割前の金額を記載しております

※3 総還元性向 = (配当総額 + 自己株式取得 + 株主優待) ÷ 当期純利益

当社グループの概要

当社グループは、創業以来、一貫してフィルタの専門メーカーとして実績を重ねてきました
当社グループは、フィルタのキーパーツである「ろ材」の主な材料であるガラス繊維や不織布及びフィルタの構成部品に使用される金属加工品や樹脂加工品等の仕入を行い、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを製造しております
当社グループは、各フィルタの「ろ材」の開発及び製品設計から製造をグループ内で一貫して行い、建設機械、産業機械等の業界向けに販売を行っております

建機用フィルタ分野

建機用フィルタとは、建機の駆動に不可欠である油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過に用いられるフィルタのことで、あらゆる建機に搭載されています。



フィルタエレメント
(建機用)

産業用フィルタ分野

産業用フィルタとは、様々な業界に応用されている油圧ユニットの作動油や潤滑油のろ過に用いられるフィルタのことであり、工作機械、冷凍用圧縮機、農業機械、船舶、鉄道車両、航空機やヘリコプター等の産業機械に用いられています。



ラインフィルタ
(船舶用)

プロセス用フィルタ分野

プロセス用フィルタとは、顧客製品の製造工程で行われるろ過・分離に必要なフィルタのことであり、電子部品、精密部品、液晶ディスプレイや食品等の業界に用いられています。



不織布フィルタ
(電子部品用)

建設機械の稼働に不可欠なフィルタ 多様多彩なラインナップを提供

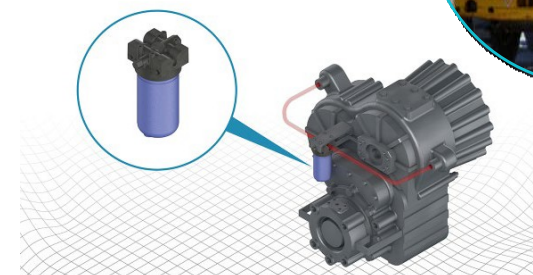
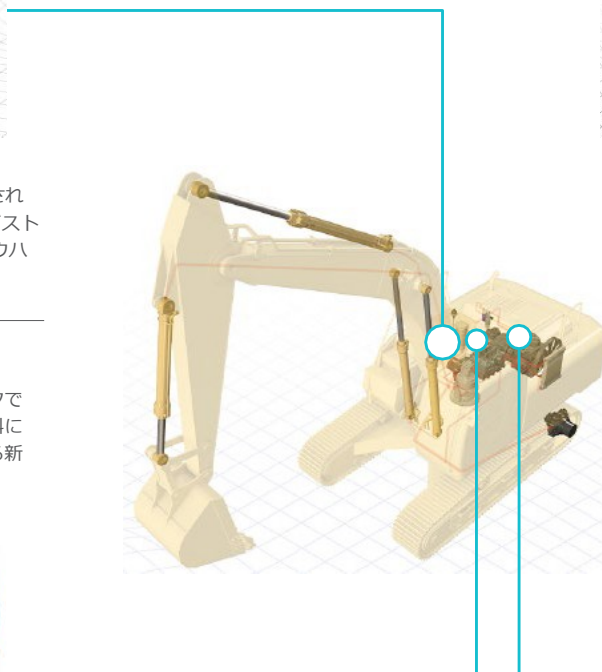
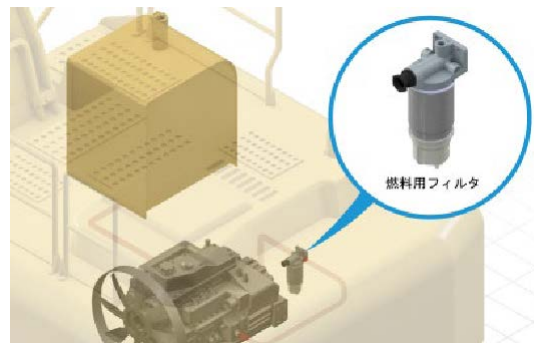


油圧用

シリンダー等の油圧機器の保護を目的に、建機に複数搭載されるフィルタです。建機の故障の原因は、約7割がオイル内のダストによる機器破損といわれています。当社では、創業以来のノウハウで最適なフィルタを提供しています。

燃料用

ディーゼル燃料に混入したダストの除去を目的としたフィルタです。昨今、世界的に進んでいる排ガス規制をきっかけに、燃料に求められる清浄度が高まっています。粗悪燃料が蔓延している新興国では、特に需要増が見込まれています。

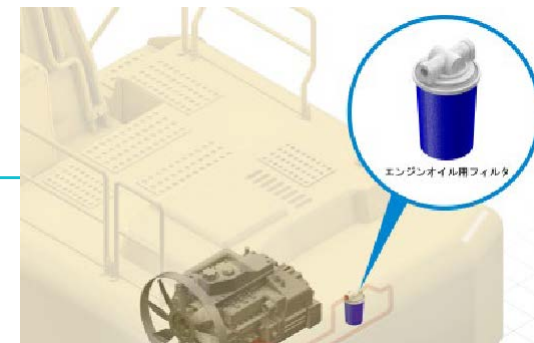


トランスミッション用

トランスミッション（変速機）機構を持つ建機に搭載されるフィルタです。トランスミッションは複数のギアで構成されるため、ギア同士の摩擦で金属粉等のダストが発生します。当社では自社製「ろ材」によってこのダストを適切にろ過し、機器のダメージを防ぎます。

エンジンオイル用

建機の各種エンジンに搭載されるフィルタです。エンジンの内部では動力を発生させるためにピストン等が高速運動をしています。エンジンオイル用フィルタは、その際に混入する摩耗（金属）粉やスラッジ（堆積物）等を除去し、性能低下や破損リスクを低減します。



セグメント と KPI

- 建機用フィルタは「**ライン品**」と「**補給品**」にわかれる
- ライン品は新車搭載用のフィルタ。重要指標は「**新車需要台数**」
- 補給品は交換部品用のフィルタ。重要指標は「**稼働台数**」×「**稼働時間**」

販売形態 地域別動向 コスト削減

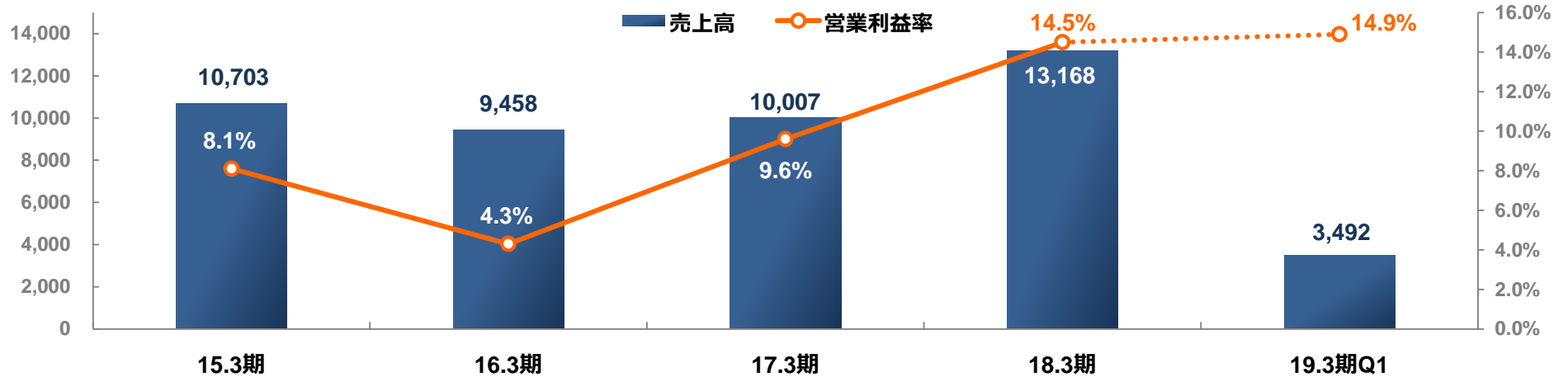
- **販売形態**
建機用フィルタの売上は、建機メーカーへの直接販売。エンドユーザーへの直販は基本的に行っていない
- **地域別動向**
地域別売上高は参考値。当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と異なる
- **PAC18 (Promptly Activated Cost reduction 2018)**
全社的なコスト削減プロジェクト

用語	計算式
MAVY's	ROIC - WACC
ROIC	NOPAT ÷ 投下資本
投下資本利益率	(経常利益+支払利息) ÷ 投下資本
運転資本回転率	売上高 ÷ (売上債権+棚卸資産-仕入債務)
固定資産回転率	売上高 ÷ 固定資産
売上債権回転率	売上高 ÷ 売上債権
棚卸資産回転率	売上高 ÷ 棚卸資産
仕入債務回転率	売上原価 ÷ 仕入債務
有形固定資産回転率	売上高 ÷ 有形固定資産
無形固定資産回転率	売上高 ÷ 無形固定資産

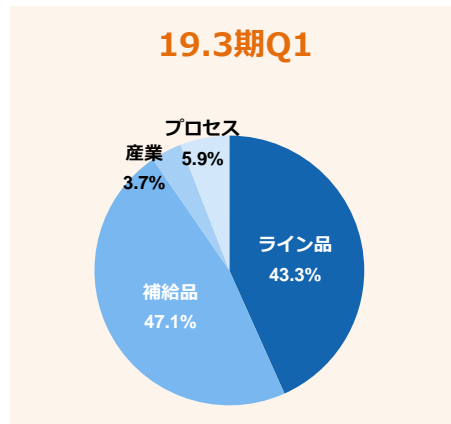
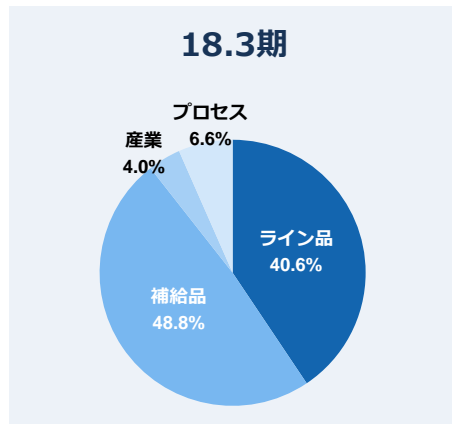
※貸借対照表項目について期首期末平均で計算しております。

売上高・営業利益率推移

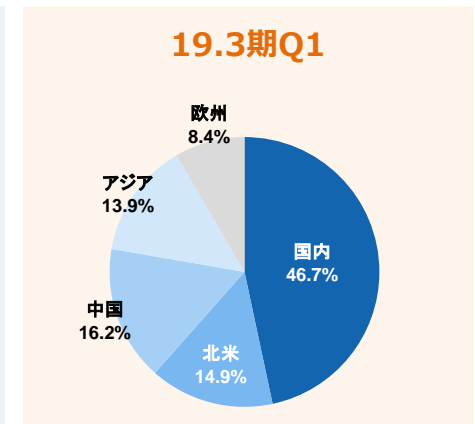
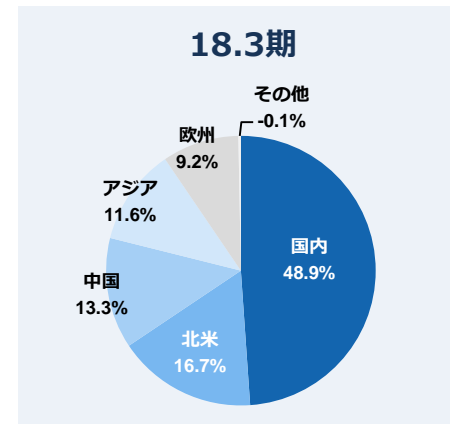
(単位：百万円)



製品別売上高

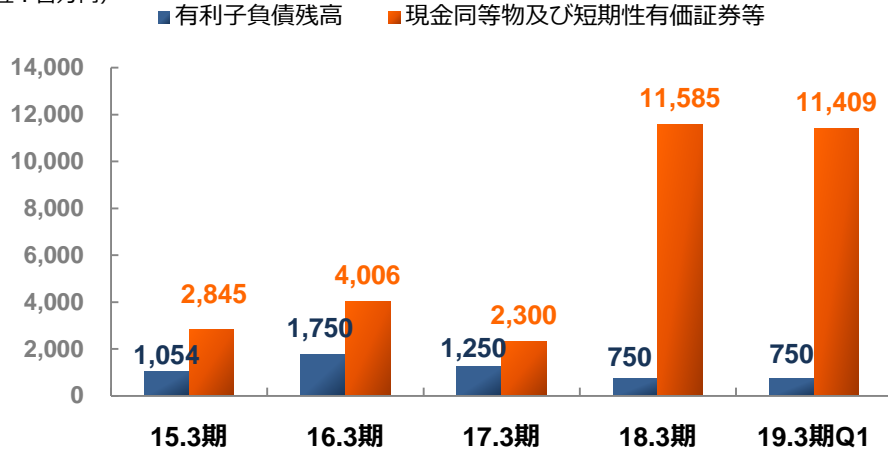


地域別売上高

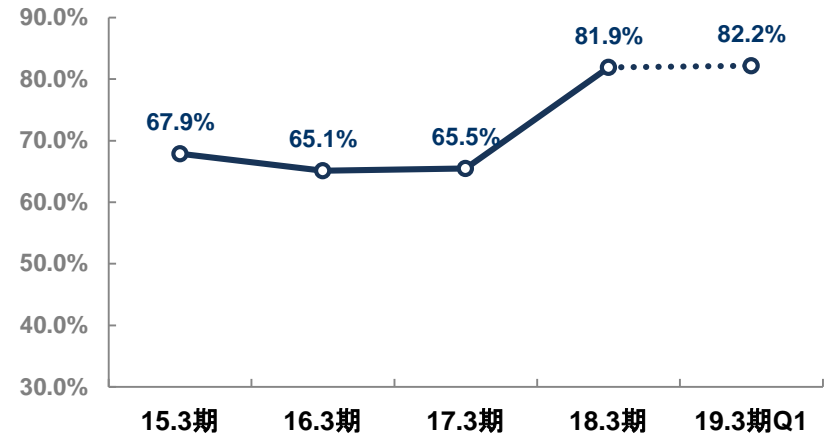


有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券等残高

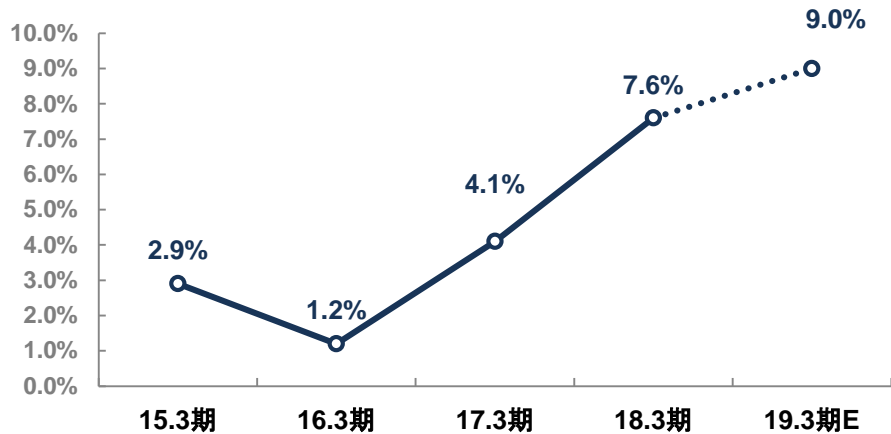
(単位：百万円)



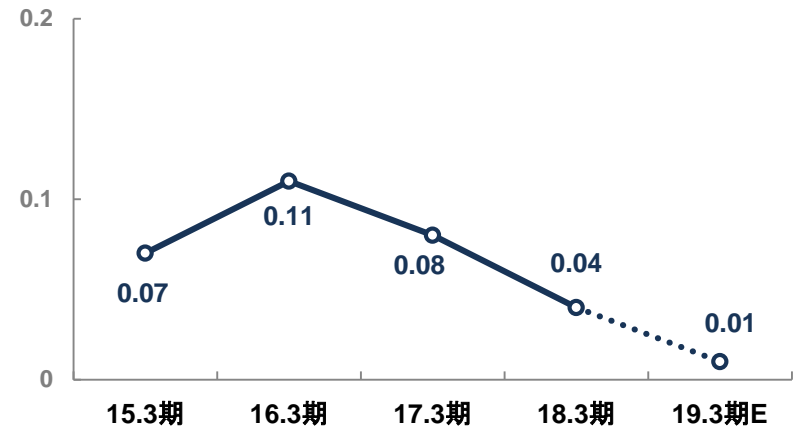
株主資本比率



ROE



D/Eレシオ

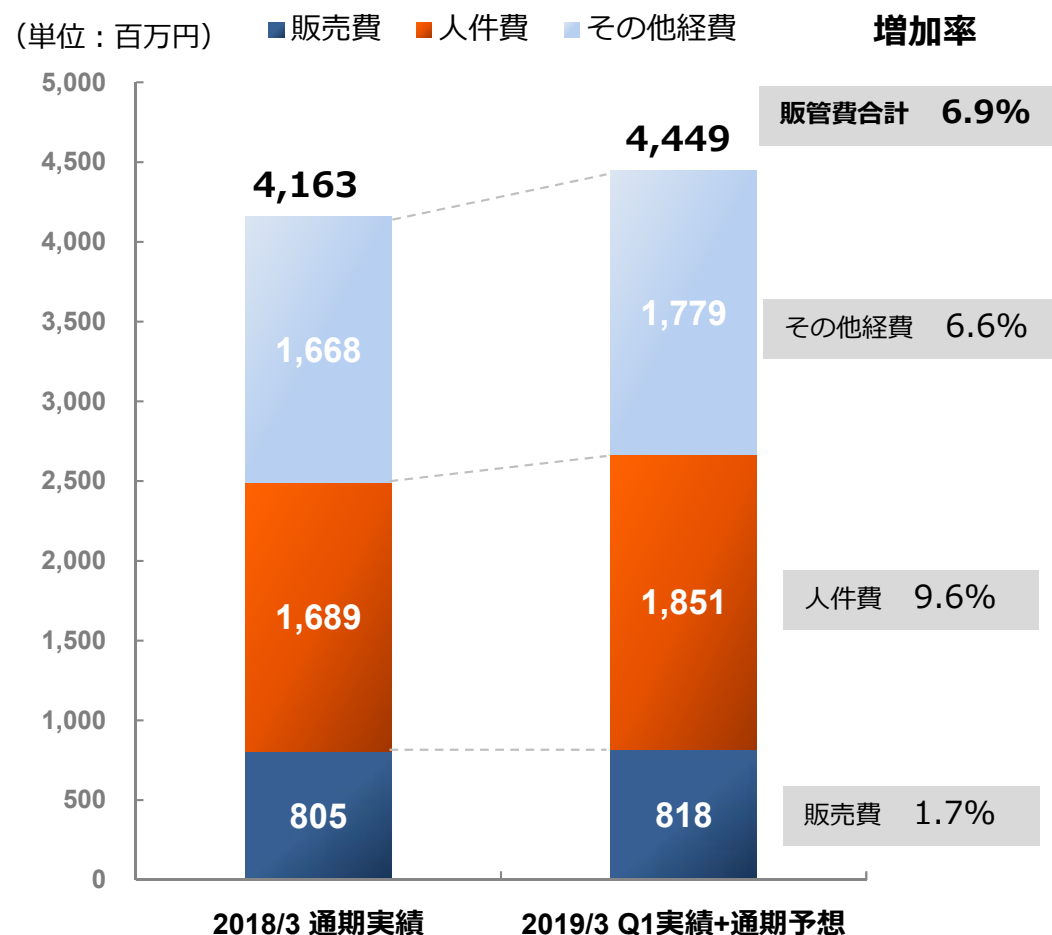
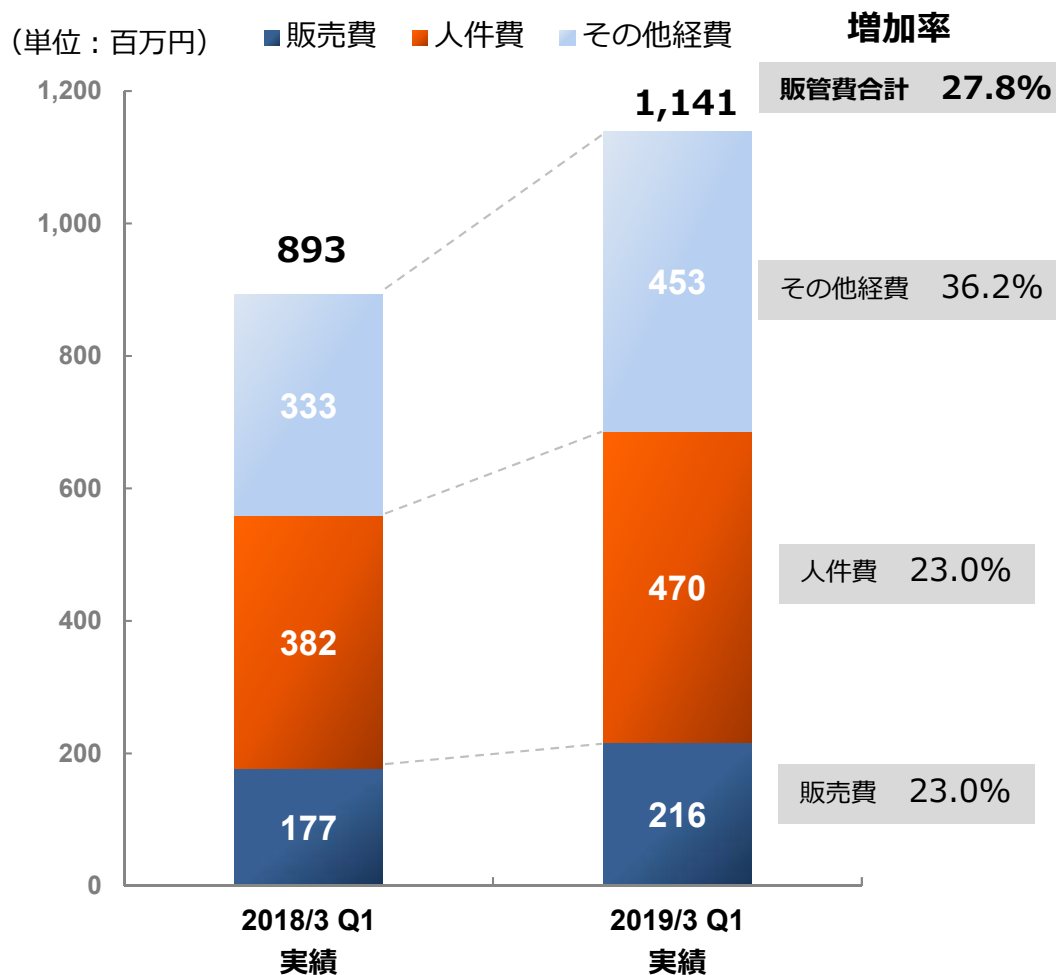


※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

SGA 期初予算 4,390百万円と+59百万円の差異内容

販売費：+25百万円 +2.9% 売上高増加率+3.0%による
経費：荷造運搬費 +21百万円 YCF向け材料支給の航空運賃





この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 経営企画室まで

TEL 045-680-1680

E-mail ir@yamashin-filter.co.jp